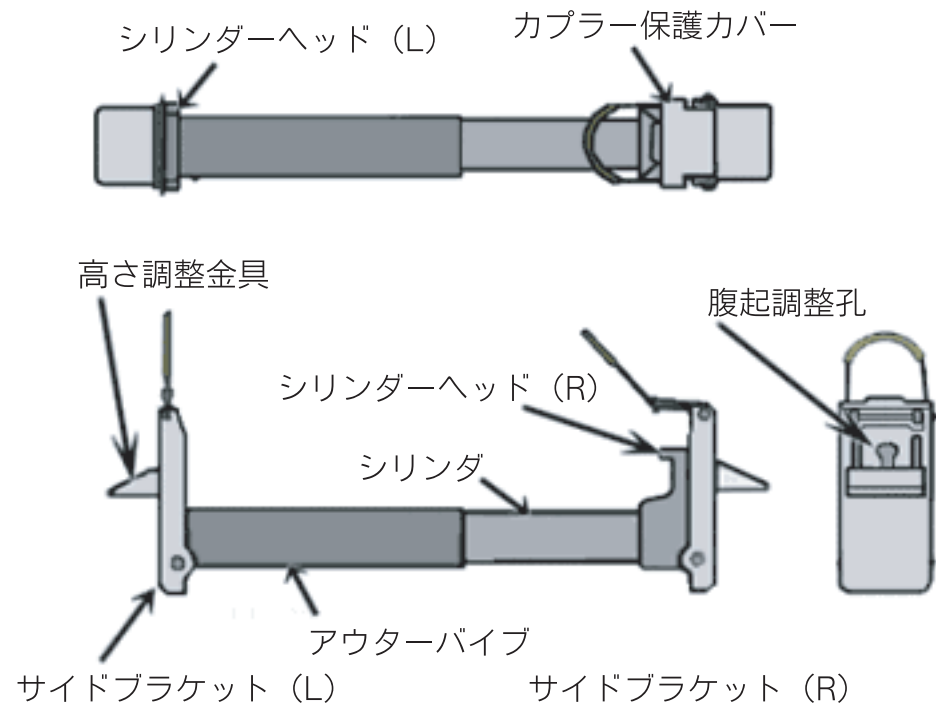
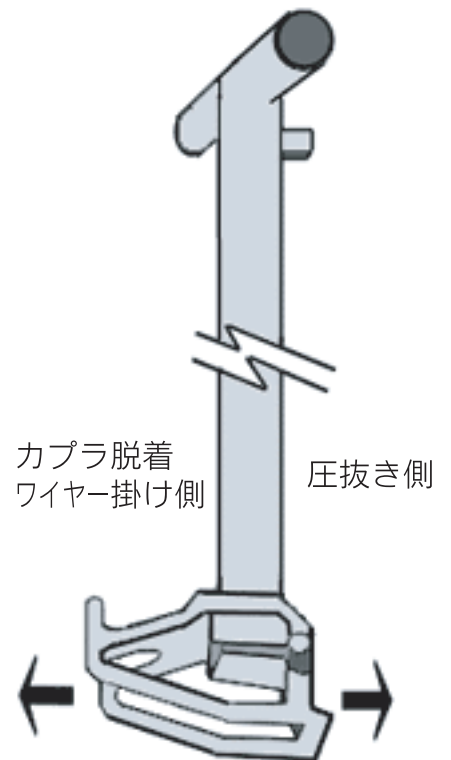


# 日軽アルサポート仕様

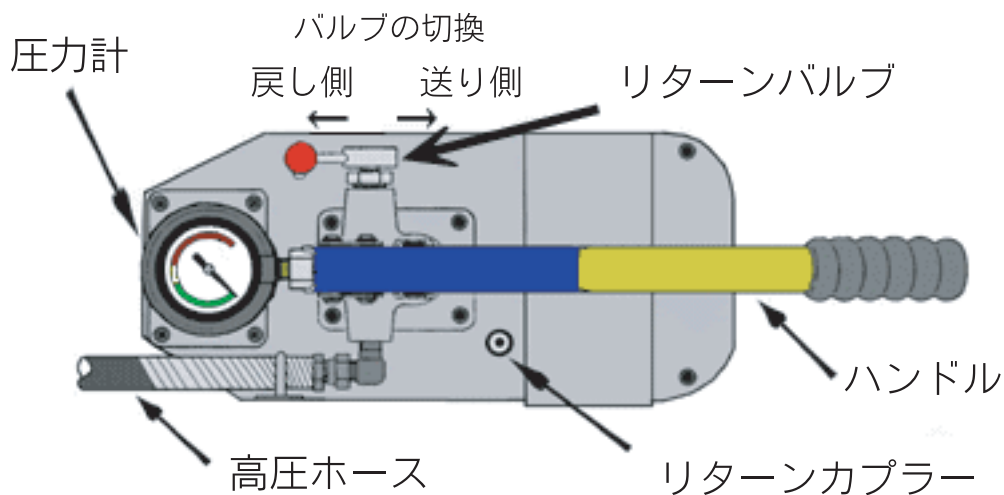
## － サポートジャッキ詳細 －



## － 作業棒詳細 －



## － ポンプ詳細 －



ポンプ加圧カーサポート圧縮強さ表	
ポンプ加圧力 (Kg/Cm <sup>2</sup> )	サポート圧力強さ (Kg)
60	1178
80	1570
100	1963
120	2355
140	2748

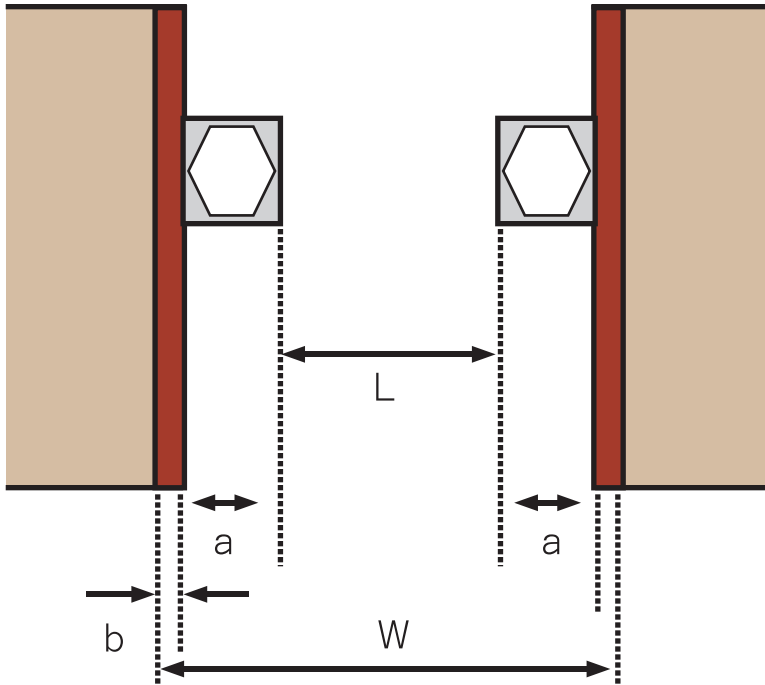
タンク15Lでの設置可能本数	
型式	本数 (本)
NAS-65	約36
NAS-90	約24
NAS-120	約17
NAS-180	約11
NAS-S型	約16

# 日軽アルサポートサイズ選定

## 【注意事項】



●掘削深度、土圧等、設計条件を考慮し許容応力内で適正な条件でご使用ください。



L : 切梁 (サポート) 長さ  
 W : 掘削溝幅  
 a : 腹起幅  
 b : 矢板高さ  
 切梁長  $L = W - 2 \times (a + b)$

	型 式	長さL	50	100	150	200	250	300
標 準 型	NAS-65	45~65	←→					
	NAS-90	59~90	←→					
	NAS-120	77~120		←→				
	NAS-180	112~180			←→			
	NAS-230	167~230				←→		
強 力 型	NAS-220S	173~220				←→		
	NAS-260S	213~260					←→	
	NAS-300S	253~300						←→

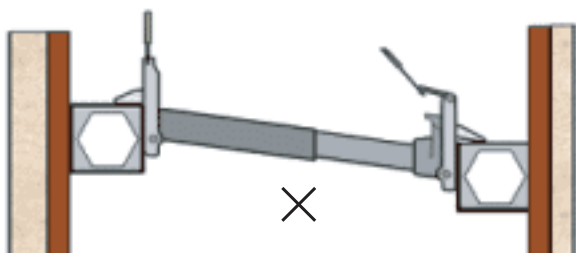
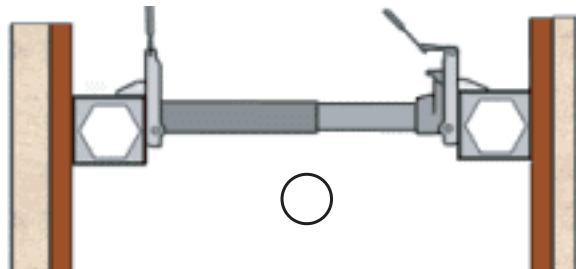
# 日軽アルサポート 設置上の注意

## 【注意事項】

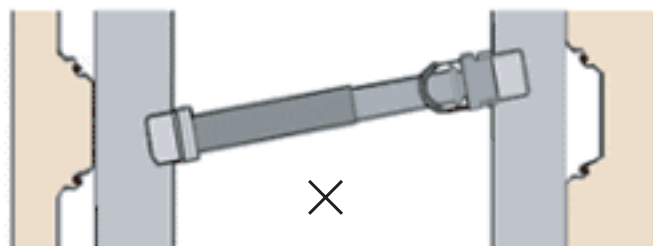
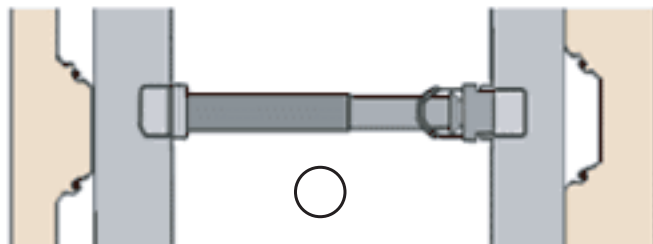


- 不適切な使用状況では本来の許容軸力を発揮できません。
- 適切な設置位置、切梁長さにてご使用ください。

## ー サポートジャッキの設置位置 ー

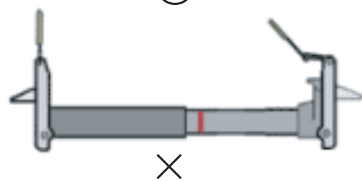
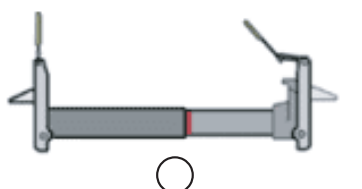


サポートジャッキは腹起と垂直に設置



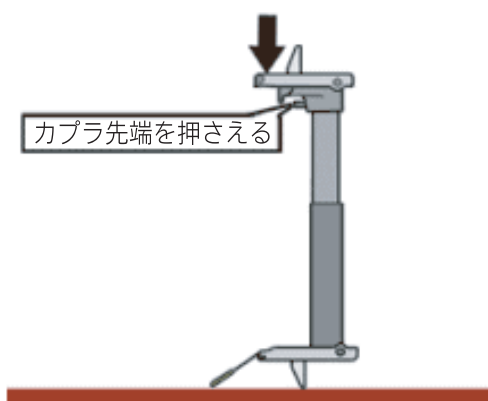
サポートジャッキは腹起と直角に設置

## ー 使用上の注意 ー



赤線位置が使用限度長さです

カプラを押さえた状態で圧縮



最大仕様寸法が近づくとシリンダーから赤線が現れます。これ以上の長さでは使用できません。赤線以上に延ばすと安全孔より水が噴出します。故障ではありませんが、適正長さを選定してください。

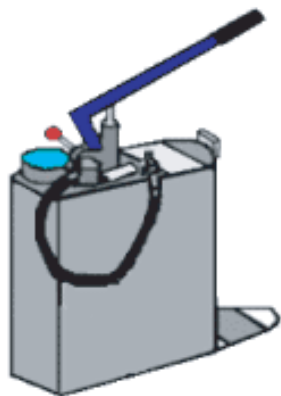
アルサポートシリンダー内に空気が入った時は、右図の様にカプラ先端を押さえた状態でサポートを圧縮してください。

### 注意

ポンプのエア抜き不足等が原因でサポートのカプラ部から液がにじむ場合があります。その場合は、この様にサポートのエア抜きを行ってください。

## — 操作手順 —

タンク一杯について専用不凍液 1 リットルを使用し、異物が入らないよう混合してください。



使用前にエア抜きをしてください。

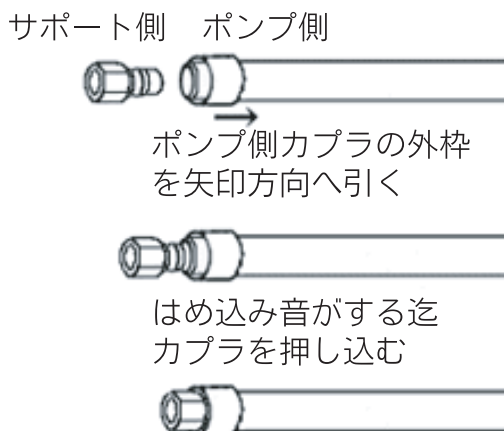
左図の様にエア抜きを行います。  
ホース先端のカプラをポンプのリターンカプラに差し込み、ハンドルを数回作動させてください。  
(この時、リターンバルブは、”送り”側)  
リターンカプラとホース先端を外し、その状態からハンドルを作動させ、圧力を120kg/cm<sup>2</sup>まで加圧します。  
ホースからの水漏れ、圧力低下がなければOKです。

確認後、リターンバルブを”戻り”側にし、ポンプ圧力をゼロにしてください。サポートジャッキのカプラにホースを接続し、リターンバルブを”送り”側にし、ハンドルを作動させ加圧作業を行います。

## 日軽アルサポート 設置手順

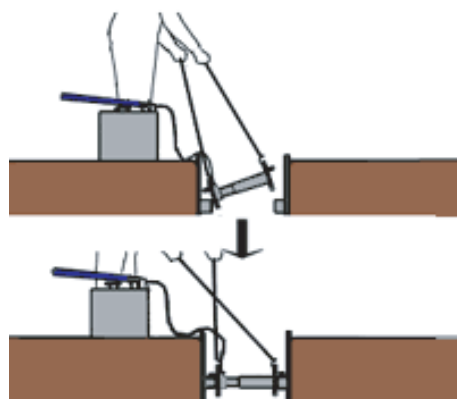
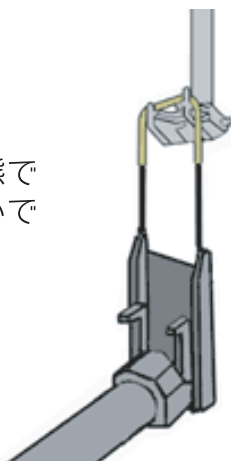
### 1 アルサポートとポンプのカプラ部を接続し、腹起に設置できる長さまで注水加圧する

カプラ接続は下記のとおり



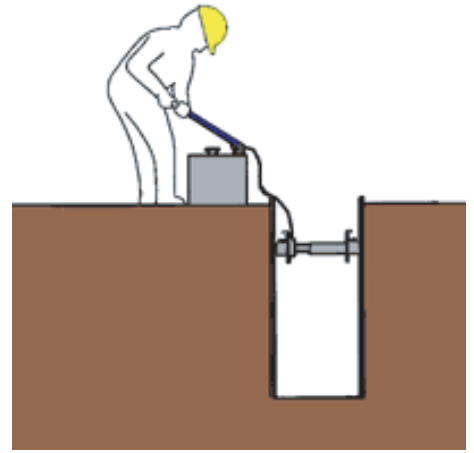
### 2 作業棒でアルサポートを腹起にセットする

圧力のかかった状態で設置、解体はしないでください。



**3**

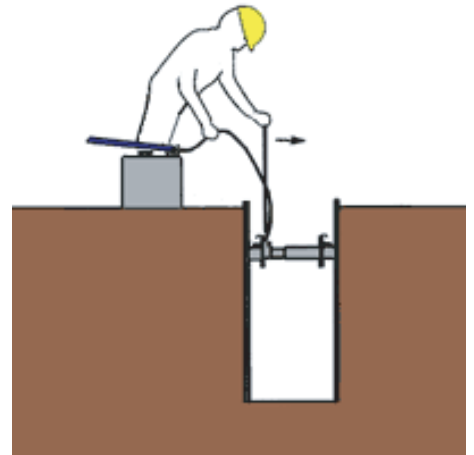
腹起とアルサポートが正しく設置されているのを確認後、ポンプにて注水します

**4**

作業棒によりアルサポート注水口のカプラを取り外します

作業棒によるカプラ取外し図

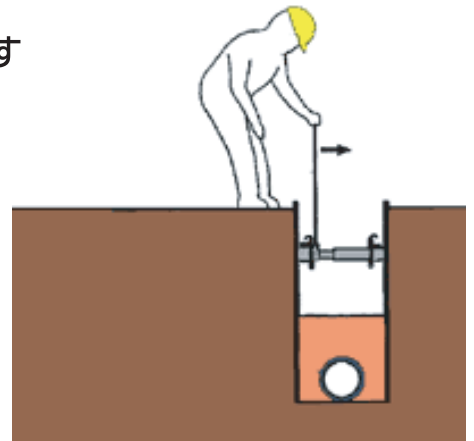
作業棒を矢印方向へ傾け、カプラを外す。  
外した後、ポンプのバルブを戻し側にし、圧力を解放する。

**5**

作業棒を使用し、水圧ジャッキの圧力を開放します

サポートの圧抜き

作業棒を矢印の向きに倒し、カプラーを押さえてください。

**6**

圧力が抜けるとシリンダーは縮みますが、撤去しにくい場合は「5」の作業を数回行ってください

